



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会
連絡先信太の森FANクラブ 0725-44-8404

e-mail hanaizm@ares.eonet.ne.jp



カキランが咲く湿地の夏

信太山丘陵の限られた湧水湿地にカキランが咲き出しました。ラン科の植物で、花の色が柿に似ていることが和名の起こりといえます。

大阪ではRDBに指定されてはませんが希少な湿地の植物です。(兵庫県では準絶滅危惧種に指定されています。)

他の湿地の希少種と同様、山野草愛好家の採集や湿地の乾燥化により信太山丘陵での自生地は減少してしまいました。

署名運動にご協力を！

駅頭・ショッピングセンターでの署名活動に取り組む

鶴山台では1時間余りに183名の賛同が！

一人でも多くの市民・府民への訴えと支持を！

信太山丘陵の市有地に対し、「自然環境を保全し後世に伝えよう」と呼びかけた「請願署名」や「要望署名」は、呼びかけて以来3ヶ月ほどが経過しました。9月市議会への提出をめざしていますが、取り組み期間は残り約1ヶ月を切りました。

現在までに事務局に届いている署名(筆)数
次ページ表1の通り、請願で3,946筆、要望で4,059筆となっています。

この数字は、当初私たちが掲げた目標のほぼ半分
に過ぎず、早急に取り組みを強化する必要があります。

2年前に辻市長誕生の際に取り組んだ「要望署名」と重なり、2度目という意識が働き同じ人に再び声がかけていくという話も聞きます。

しかし、初めての「請願署名」と併せて繰り返して市長へ要望することはとても大事なことだと考え

ます。そして、何よりも、署名活動を通じて私たちの考えや里山自然公園についての構想を語る貴重な機会となると思うからです。

信太山丘陵の保全と活用の重要さを一人でも多くの和泉市民や府民に伝えることが今一番求められていることです。

駅前・ショッピングセンターで街宣、リーフ各戸配布



JR北信太駅前での宣伝（6/15）、緑色の「のぼり」は連絡会が作成、「信太山丘陵に里山自然公園を」と呼びかけている。

駅頭など宣伝・署名	請願	要望
北信太駅 6/15(参加者9名)	86	87
和泉府中 6/17(参加者9名)	57	58
和泉中央 6/22(参加者13名)	110	111
光明池 6/23(参加者8名)	74	66
信太山 6/24(参加者7名)	74	74
鶴山台 7/3(参加者9名)	179	183
鶴山台 7/6(参加者5名)	61	61
北信太駅前 7/13(参加者7名)	89	93
信太山駅前 7/14(参加者8名)	128	129
和泉府中 7/15(参加者7名)	78	78
合計	936	940

署名活動に寄せられた意見や感想

各戸配布されたリーフをめぐって朝から家族中で話題になった。買い物に来たが遠くからのぼりが見えたので署名しようと思ってきました。」
一鶴山台 40代女性

「一度破壊すると自然は元に戻らない、今の時代は自然を大切にしなければならない。」
一北信太 50代男性

* 「自衛隊のヘリコプターなどの騒音に悩んでいるが、その上野球場など造れば騒音や交通量がさらに増えるだろう、この地域をどう考えているのか。」
一鶴山台 60代男性

などなど、私たちが各戸に配布したリーフについても「ビラをみたから」という声が多く、よく読まれているという感じでした。

なお、各戸配布は7月13日現在、鶴山台全域に約3200枚、信太地区の太町、上町、葛の葉、聖ヶ岡などに約1400枚を配布しました。

こうした行動に参加した会員の感想は

「話ができる多くの方が良く理解してくれる。でも、殆どの方が市の開発計画については何も知らないし、知らされていない」

「鶴山台の反応がとても良くて、声をかけると8割から9割の方が署名してくれた」

事実、7月3日の行動ではわずか1時間少々の中に183名が署名してくれました。書いてる人の後に並んで署名を待つ人まで現れる時もありました。

「サラリーマンなど若い男性の反応が鈍く、女性は年齢に関係なく協力的であるという感じがした。」

「もっともっとわれわれの宣伝が必要だと思った。」

今回、連絡会が初めて街頭に出て、信太山丘陵の保全を呼びかけた行動の成果や課題については今後十分総括される必要がありますが、①「請願署名」「要望署名」を訴える場を新たに拡大したこと、②一人でも多くの市民に私たちの考えを理解してもらう機会になった、ということで十分に意味のある行動であったと思います。

じりじりと照りつける太陽の下で一軒一軒リーフを配ったこと、すごい勢いで改札から出てくる人の群れに署名を訴える機会を窺ったことなど結構しんどさを味わいましたが「里山自然公園」実現への想いを改めて強く感じた気がします。

次回の行動にも多数参加いただけることを期待します。

現在の署名の状況（7月14日）

請願署名 3, 946筆
要望署名 4, 059筆



モニタリングサイト1000

草原の野鳥調査地 信太山が選定される 100年間の環境調査

2003年度より環境省は「生物多様性国家戦略」に基づき、「モニタリングサイト1000」の事業を進めてきました。

日本列島の多様な生態系のそれぞれについて全国にわたって、1000カ所程度のモニタリングを長期にわたって（100年）継続して日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期的に把握することをめざしています。

5月末、「草原の野鳥調査地」としての調査依頼を日本野鳥の会本部から大阪支部を通じて受けました。急遽、日本野鳥の会・大阪支部の平代表と現地を歩き、調査ポイントを確認し、調査を実施することを承諾しました。調査ポイントの内2ヶ所が和泉市有地（16haの開発予定地）に含まれているため、将来調査ポイントの移動もあり得るということを承諾し市の了解を得ました。

6月12日と29日に決められた方法で第1回の調査を実行しました。調査には、FANクラブの花田茂義、田丸八郎、島崎舜次が当たりました。次は来年2月に行い、後は5年後となります。100年先まで信太山の環境を見守ることになります。



「第2次和泉市環境基本計画」

平成13年に策定された「第1次和泉市環境基本計画」は10年が経過し、環境問題の複雑・多様化を前に、基本計画検討委員会や環境審議会の意見を踏まえ、「第2次環境基本計画」が策定され、3月に冊子として発表されました。冊子は概要版と基本計画の2種が発行されています。

生物多様性に関する課題

本市の環境に関する課題として、生物多様性に関することでは次のように述べています。

特性の一つとして「信太山丘陵は、住宅地に近接しているにもかかわらず、自衛隊演習地であることによって、特に湿地特有の貴重な自然が残っている特異な存在です。カスミサンショウウオなど貴重な動物が生息し、また、サギソウ、トキソウなどの湿性植物も数多くみられ、湿地の保全に向けた適切な保全策が望まれています。」

また、課題として「信太山丘陵の自然環境保全と適正な維持管理」をあげ、「湿地特有の貴重な動植

物が生息する自然的価値が高い信太山丘陵を、地域の域のシンボルとして次の世代へ継承していくことが求められています。

湿地は人為的影響を受けやすく、一度変質すると復元しにくいものであることから、今後も継続して調査研究を進め、保全に向けた取り組みを進めていくことが課題です」



また、基本目標として、「生き物がいっぱい自然を大切にするまちをつくる」を掲げています。

信太山丘陵に関するかぎり認識や課題はわれわれと大差ないようです。今後、課題や目標のレベルから施策の実行へと前進することを期待したいものです。

これからの予定

信太山丘陵を守る市民の集い 2011

と き:2011年9月3日(土) 午後 1:30~4:30

ところ:和泉市コミュニティセンター(和泉市役所前)

基調講演:藤井伸二氏(人間環境大学)

「信太山丘陵の植物相とホットスポット」
-信太山ってこんなに生き物が豊かだったんだ!-

フォークソング・信太山のスライド・現状報告 など
参加費:無料



キキョウ

主催:信太山に里山自然公園を求める連絡会

信太の森おやこまつり

信太の森の歴史・自然・文化に親しもう!

と き:2011年10月16日(日)

ところ:信太の森ふるさと館(予定)

【プログラム】

午 前: 観察会(信太山丘陵)

午 後: ミニコンサート・紙芝居・ネイチャクラフト
ドングリクッキー・ドングリと遊ぼう など

主催:信太の森おやこまつり実行委員会



シリブカガシ

【定例観察会】

毎月第4日曜日(連絡会)

惣ヶ池公園集合 朝9:00~12:00

偶数月第2日曜日(FANクラブ) 同上

定例観察会の案内は以下のFANクラブHP掲示板を参照下さい

<http://www.eonet.ne.jp/~hanaizm/>